様式第１９号

火薬類消費計画書

|  |  |
| --- | --- |
| 工事等の名称 |  |
| 発注者 |  |
| 工期 |  　　　　　年　　月　　日　から　　　　　年　　月　　日まで |
| 消費期間 |  　　　　　年　　月　　日　から　　　　　年　　月　　日まで・無期限 |
| 消　費　の　方　法 | 火薬類の消費見込数量（１か月最大） |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  発破の方法 |  １孔当り装薬量　（最大）　　　㎏　　 電　気 １回の発破孔数　（最大） 個 点火の方法 １日の発破回数　（最大）　　　回 導火線 １日の消費数量　（最大） 　㎏　 込物 １ヶ月の発破日数（最大） 回 発破予定時刻 |
| 危　害　予　防　の　方　法 | 危険区域の表示 |  別図の位置に立入禁止、発破時刻、注意事項を表示する。 |
| 警戒員 |  警戒員　　　　名を別図の位置に配置する。 |
| 警戒場所場所 |  サイレン　　　振鈴　　　　呼笛によって警報する。 |
| 退避場所 |  構造　　　　　　　　　　　位置は別図のとおり |
| 交通制限要 ・ 否 |  通行車両　　定期バス　　不定期自動車　　軽車両　　歩行者 遮断時間　　発破前　　　分～発破後　　　分 |
| 住民への周知 |  |
| 防護措置要 ・ 否 |  ブラステングマット ブラステングシート　　 防爆マット たたみ ブラストフェンス　　飛石防止柵 むしろ　　かます　　こも俵 その他（ ）を使用する。 |
| 火薬類取扱所 | 位置 |  安全で湿気の少ない場所に設ける。　火工所までの距離　　　　　ｍ |
| 構造 |  見張人を配置しない構造（　　　　　　　　　　　　　）造り 見張人を配置する構造　（　　　　　　　　　　　　　）造り |
| 設備 |  境界柵　警戒柵　照明設備　（配線　　　　　　）を設ける |
| 管理 |  帳簿を備え責任者を定めて、火薬類の受払い状況をその都度記録する。 |
| 火　工　所 | 位置 |  安全で湿気の少ない場所に設ける。　切羽までの距離　　　　　ｍ |
| 構造 |  （　　　　　　　　　）造りとし、作業台を設ける。 |
| 設備 |  周囲柵　警戒柵　照明設備　（配線　　　　　　）を設ける |
| 管理 |  帳簿を備え責任者を定めて、火薬類の受払い状況をその都度記録する。 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |
| 　　 | 貯　　　蔵　　　場　　　所 | 自己所（占）有火薬庫 |  所在地 種類、棟数　　　　　地上式　　　　　級火薬庫　　　　　棟 有効期間（２級火薬庫のみ）　　　　　　　　　年　　月　　日　まで |  |
|  庫外貯蔵所 |  所在地 指示期間　　　　　　年　月　日　から　　　　　　年　月　日 まで 最大貯蔵量 |
| 委託貯蔵する火薬庫 |  所在地 種類、棟数　　　　　地上式　　　　　級火薬庫　　　　　棟 |
|  貴殿所有の火薬類を消費期間中、私所有の上記火薬庫に保管することを承諾します。 　　　　年　　月　　日 住所 所有者 氏名  |
| 運搬の方法 | 譲受先車両距離・時間 | （販売店名） 自動車　　　二輪車　　　　委託運送（委託先　　　　　　　　） 取扱所　火工所　火薬庫まで　　　　ｋｍ　　所要時間　　　　分 |
| 消費場所の火薬類取扱従事者の氏名 | 区　　　　　 分 | 氏　　　　　　名 | 年令 | 資格 | 保安手帳・従事者手帳 |
|  保安責任者（正） |  |  |  種 |  　 第　　号 |
|  〃 （代） |  |  |  種 |  　 第　　号 |
|  〃 （副） |  |  |  種 |  　第　　号 |
|  |  |  |  種 |  　第　　号 |
| 庫外貯蔵所責任者 |  |  |  |  　第　　号 |
| 取扱所責任者 |  |  |  |  　第　　号 |
| 火工所責任者 |  |  |  |  　第　　号 |
| 発破場所責任者 |  |  |  |  　第　　号 |
| 発破従事者 |  |  |  |  　第　　号 |
| 〃 |  |  |  |  　第　　号 |
| 〃 |  |  |  |  　第　　号 |
| 〃 |  |  |  |  　第　　号 |
| 〃 |  |  |  |  　第　　号 |

（注）危害予防の方法、取扱所、火工所の概要、運搬方法欄は不要事項を消すか、又は必要事項を○で囲むこと。

　添付書類　消費場所付近の見取図等